

食農部門

平成24年度受賞 安中生活研究グループ連絡協議会

活動を始めた時期：昭和38年4月～ 推薦：安中市長

～活動報告～

昭和38年に農業に従事している女性を中心に組織された「安中生活改善グループ」を前身に、平成15年に現団体名に改称し、生活改善に必要な知識や技術の習得や、より良い家庭作りを事業目標に活動を展開している。

平成18年より、新規需要米拡大のための米粉利用促進事業として「米粉を使った料理教室」を開始し、一般市民向けのほかに、保育園や小学校と連携し、課外授業、PTAセミナー等でも、料理教室を実施している。

「米粉を使った料理教室」は、非常に好評で、年々実施回数も増えている。この教室では、簡便な調理方法とアイデアで、小麦粉利用とは違う全く新しい食感と味を紹介し、自前の農地から鮮度のよい食材を用い、核家族の食卓にはあまり登場しない昔ながらのメニューとともに、トレンドなメニューも伝えている。学校授業で、料理教室に参加した子どもたちが、食農体験のフォローアップとして書いた作文には「作る喜び」も語られるなど、料理教室を通して、自ら料理にトライする自信と楽しさも伝えている。このような活動から、安中市では「“米粉料理”イコール“生活研究グループ”」と認知されている。

その他、楽しみながら農業を体験し、収穫した作物を味わう「食と農の体験学習会」も開催しているが、毎回消費者に好評であり、親子での参加も多く、消費者との相互理解と交流も深めている。

活動の様子

